

チルチンびと「地域主義工務店」の会
千葉県(株)どんぐりの家イニシア
(株)グッドリビング

風と家族の気配が 通り抜ける家

エアコンをつけたくないというご主人と、
家族の気配がわかる家を望む奥さん。
(株)どんぐりの家イニシア(株)グッドリビング)がつくった、
夫妻の希望を叶える家とは。
写真：相原 功



右/明かり取りの光が出迎えてくれる玄関。下/庭から見たK邸。杉板がふんだんに張られ、温かみのある外観。



薪ストーブの前でくつろぐK夫妻。ストーブの炉台と炉壁は大谷石張り。

真新しい家々が建つ、住宅街の
一画にあるK邸。一見平屋を思
わせる、なだらかな傾斜の屋根が
特徴的だ。周囲の家とは違い、ガ
レージや外壁に木がふんだんに使
われており、素材の温かみを感じ
られる。

大谷石が張られた落ち着きのあ
る玄関を上がると、おだやかな外
見とはうらはらな、大胆に吉野杉
の丸太柱が鎮座する吹き抜けの
LDK。通り抜ける風とともに、
清々しい木の香りが。「風通しが
とってもいいんですよ」と迎えて
くれるのは奥さんだ。

以前住んでいた家は、自宅で仕

事をしていたこともあり、4人家族にしては部屋数が少なく、子供室は二人で8畳一間の狭い家だった。たまたま近くに少し広い土地が出たので、家を建てることに踏み切った。

夫妻の希望は、エアコンなどの機械設備を使わずにすむように風通しがいいことと、どこにいても家族の気配がわかる家。

その希望を叶えたのは、(株)どんぐりの家イニシア(株)グッドリビング)。同社は平成4年に創業以来、木材や昔ながらのニカワの接着剤など、生産者と中身が明らかかな材料を使い、一貫して安心して暮らせる家づくりをしてきた工務店だ。

この家の特徴は、徹底して吟味された国産木材を使っていること、そして通気設計。天井の傾斜に沿って空気が動き、2階の通気窓から抜け、家中に風を通す。吹き抜けにすれば、天井をより高く有効的に使えるだけでなく、家族の声や気配も感じられる。

さらに壁には自然素材由来のセルロースと25ミリ厚の珪酸カルシウム板の断熱材を二重に入れ、夏の暑さは室内へ入れず、冬の暖気は逃さないつくり。そして温度が均一になるよう、各所にシーリングファンをつけた。
薪ストーブは、エアコンをつけ



上左/階段スペースも欄干壁はつくらず、開放感を感じさせる。上右/吉野杉の大黒柱が存在感のあるLDK。2階の障子は子供室のもの。下/LDKには薪ストーブもあり、回らんの場に。障子から入るやわらかい光が室内を包み込む。



しおん君が自信をもって
おすすめする
「自然塗料・接着剤」は
こんな商品です

石油系溶剤&乾燥剤を
一切使っていない
自然素材のみでつくられた
純国産自然塗料

ホルムアルデヒドの放散ゼロ！
合成化学物質を一切使っていない
自然素材のみでつくられた
天然接着剤匠(たくみ)

**お施主様必見！ 新築、リフォームの際に使う
「自然塗料・接着剤」はなにをお使いになりますか？**
納得の住まいをつくるためにも、事前に自身で確認されることをおすすめします。



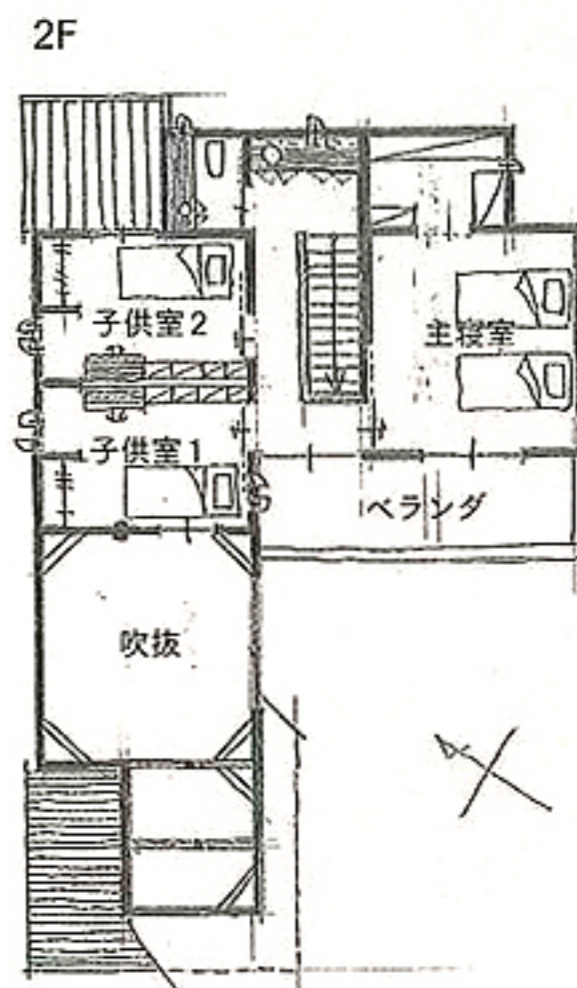
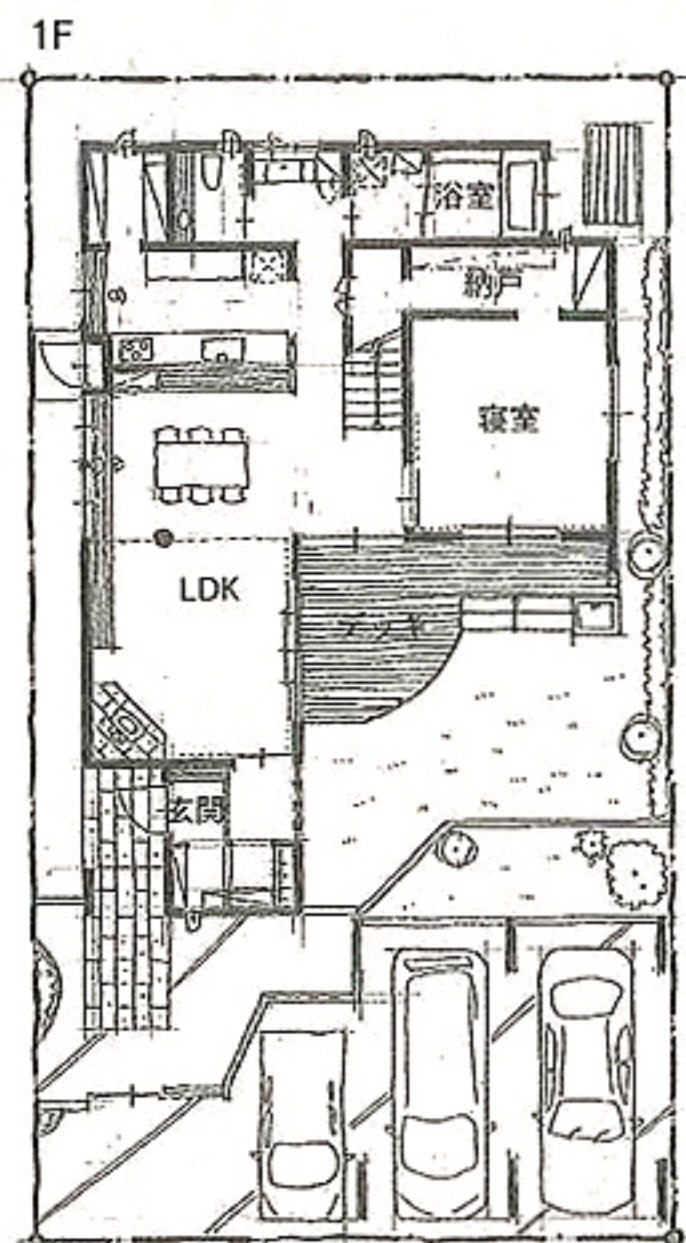
自然素材100%で
つくられているから
安心！安全！

こちらのホームページから、
どなたでもサンプルを入手することができます！
新築・リフォームの際にはぜひお施主様ご自身の目で
商品をご確認の上、ご利用ください。
(ご利用の際には、ホームページより
直接ご購入いただくことができます)

シオン 検索

あんしん暮らしづくり提案企業
Xion 株式会社シオン
〒020-0891
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南 3-8-1
TEL 019-677-7060 / FAX 019-637-3190
http://www.xion.co.jp info@xion.co.jp

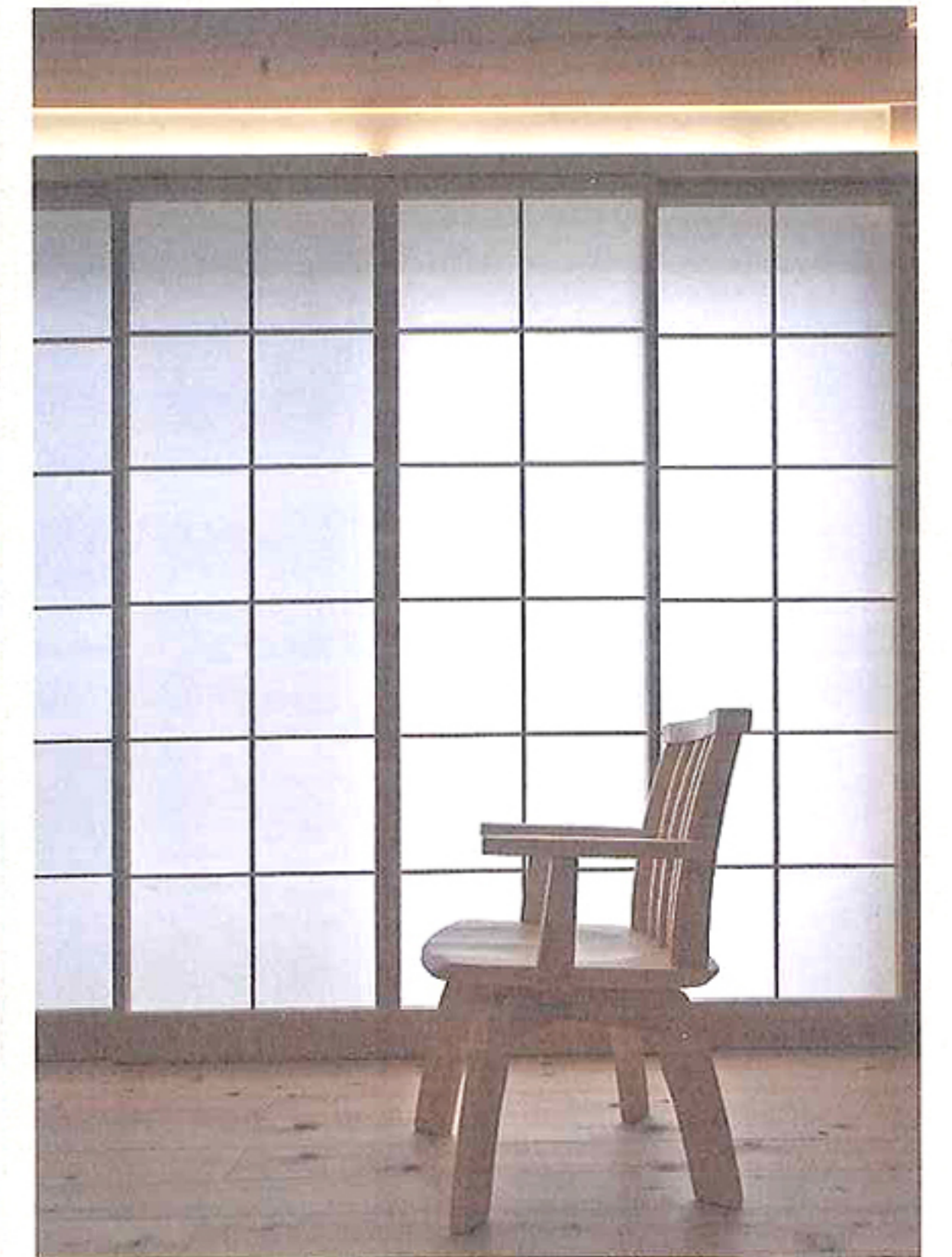
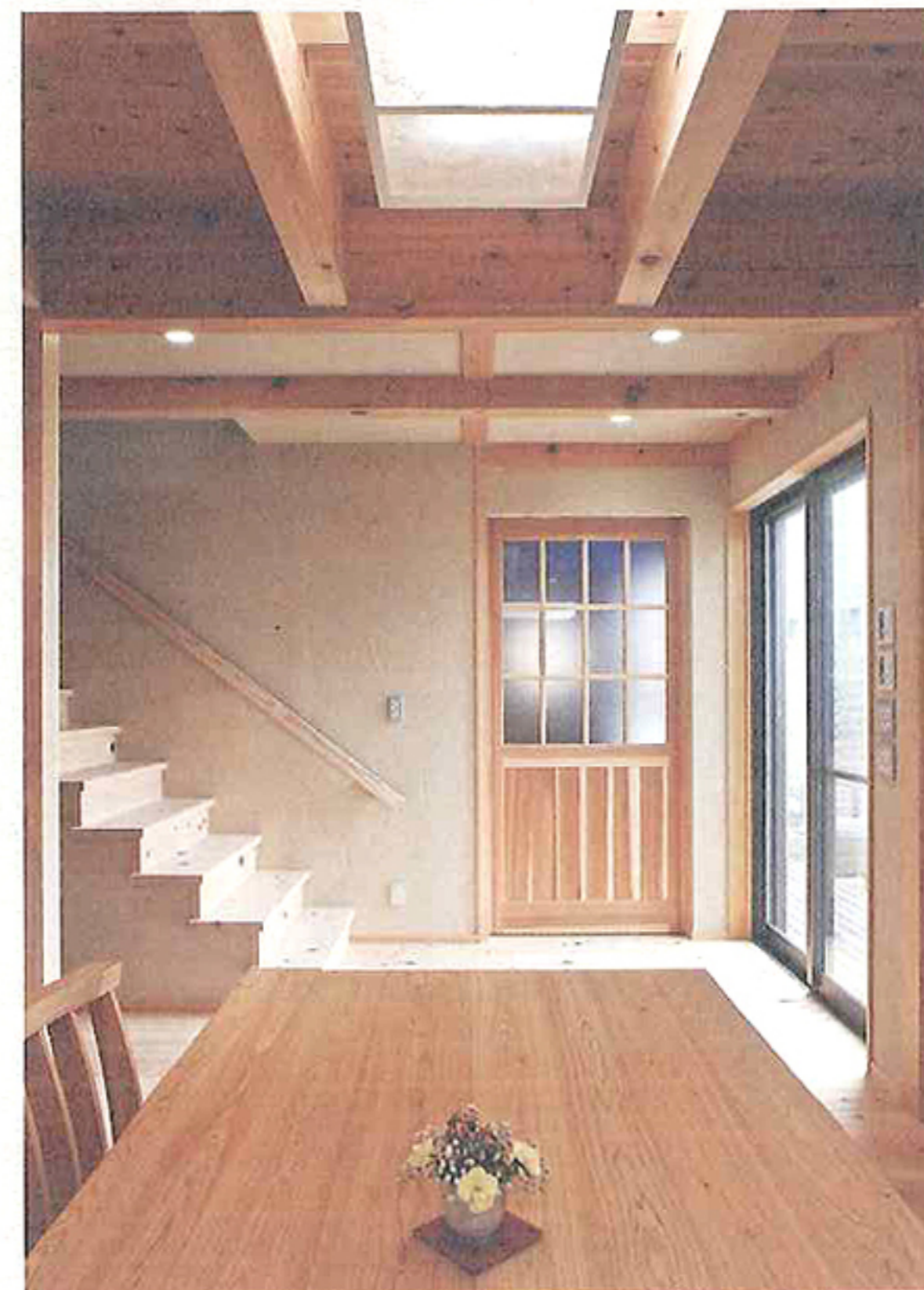
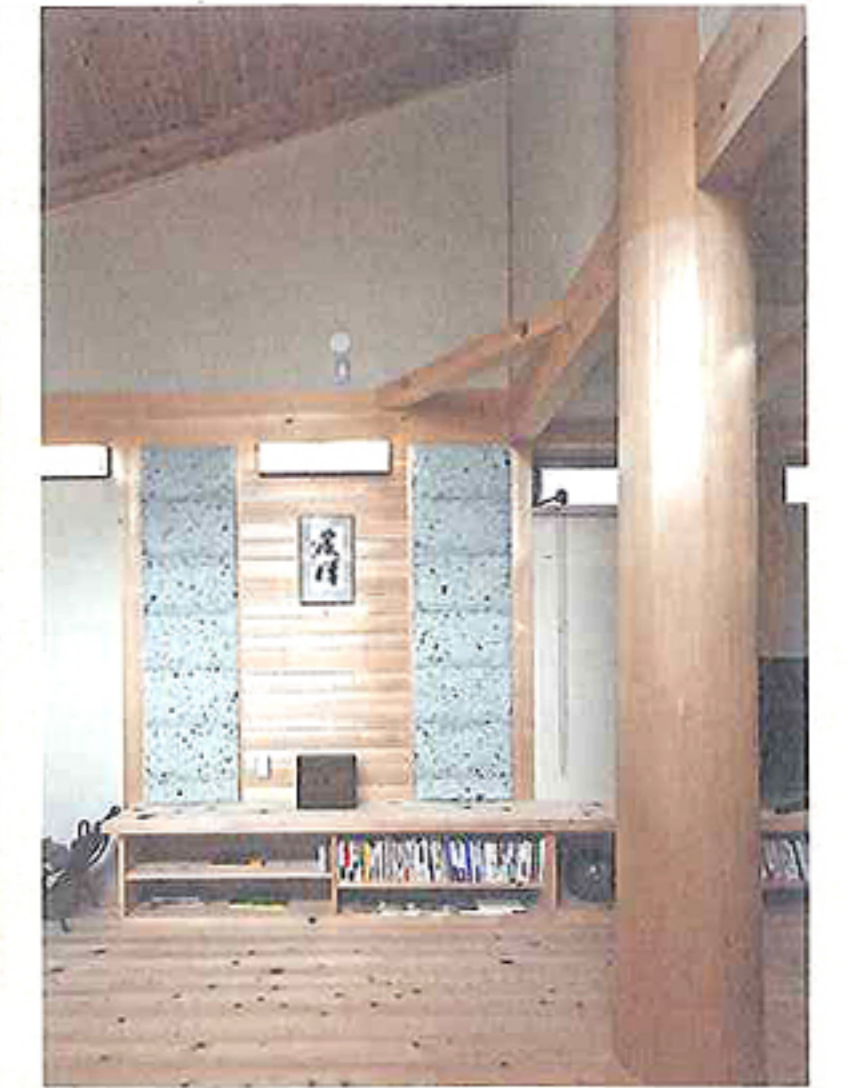
下/2階の子供室。建具の上に小屋をつくらず、音や気配を感じられるようにした。 右上/1階和室は青い和紙と間接照明がアクセントに。 右下/キッチン奥につくられたパソコンスペースは奥さんの要望。



ソーラーパネルが設置された大屋根。



左から(株)どんぐりの家インシア(株)グッドリビング) 社長・川村一雄さん、同社設計室・秋葉美也子さん。



左上から時計回りに / 広々としたキッチンで家事をする奥さん。カウンターになっているキャビネットは収納力抜群。 / LDKの壁には一部大谷石と杉板を張った。壁面の照明は同社・秋葉さんによる制作。 / 障子の枠には間接照明がつけられ、雰囲気のある室内を演出する。 / 和室への引戸はガラスを入れ、室内の気配がわかるようにした。

たくないというご主人の希望で導入した。実際に何度か見学に行くうちに、薪ストーブの奥深さに惹かれたという。

Kさん一家は引っ越してまだ2カ月目を迎えたばかり。新しい家に住み始めて「どこからともなく家族の生活音が聞こえてきて、いる場所は違うけれど孤立しないという感じがとても安心できます。プライバシーもないぐらいですけどね」と笑う奥さん。息子さんたちは、自分の部屋ができた大喜びだそう。そんな一家を見て「こんなに喜んでもらえると、やりがいを感じますね」と嬉しそうに同社社長・川村一雄さん。

奥さんお気に入りの、和紙でつくられた照明はK邸を担当した同社設計室・秋葉美也子さんが制作したもの。「夜、灯りをつけると和紙に入った模様が浮かび上がって本当に素敵です」と奥さん。女性ならではの細かい演出が、暮らしにうるおいを与えている。

「いずれ冬にはストーブでピザを焼いたりして、デッキも使って近所の方を招きたいですね」と薪ストーブに夢をふくらませるご主人。奥さんは庭に小さな畑をつくって野菜を育てたいという。まだまだできたばかりのK邸は、これから住まい手とともに味わいを増していくことだろう。